



百万一心

題字は、毛利三十二代毛利元道氏書

第 31 号

発行

平成14年 6月16日

山口市神田町 1-80

防長青年会館

ボーイスカウト山口県連盟

TEL 083-928-0079

FAX 083-923-8623



「・・・する」から「・・・になる」

第一地区コミッションナー 岡本 誠

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモマケズ 暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダオモチ ヨクハナク 決シテイカラズ イツモシズカニワラツテイル 一日ニ玄米四合ト味噌ト少シノ野菜ヲタベ アラユルコトヲジブンヲ カンジヨウニ入レズ ニヨクミキキシワカリ ソシテワスレズ 野原ノ松ノ林ノ影ノ 小サナ萱ブキ小屋ニイテ 東ニ病氣ノコドモアレバ 行ツテ看病シテヤリ 西ニツカレタ母アレバ 行ツテソノ稲束ヲ負イ 南ニ死ニソウナ人アレバ 行ツテコワガラナクテモイイトイイ 北ニケンカヤソシヨウガアレバ ツマラナイカラヤメロトイイ ヒデリノトキハナミダヲナガシ サムサノナツハオロオロアルキミンナニデクノボウトヨバレ ホメラレモセズクニモサレズ ソウイウモノニワタシハナリタイ 「宮沢賢治手帳より」

皆さんは、この詩を読んだり、聞いたりしたことがあると思います。賢治は、嘘や見栄でなく、本当にこんな人になりたいと願っていたの

です。この詩を何年かぶりに読み返したとき、「誰でもできるボランティア活動」「すぐにはなれないボランティア」と、ある本を読んだときの言葉を思い出しました。私たちがいつしよです。「誰でもできるスカウト活動」「すぐにはなれないボーイマン」。スカウト活動も「・・・する」から「・・・になる」までの道のりは、人それぞれ多様ですが、人格と能力を築く訓練をするにあたり、単に自分の地位や幸福のためではなく、他の人々や社会に尽くすことを目標にしたいものです。

賢治のように。

オープン集会を開催

萩第5団

平成14年4月27日、28日に萩市菊ヶ浜小浜キャンプ場にてオープン集会を開催した。参加者は、スカウト、一般の方を含め約60名。27日は、ボーイ及びガールが野営キャンプを行い、28日は一般の参加者といっしょに指月山の自然体験、クラフトネイチャーゲームを行った。

一日目の夕食では、鶏丸ごと一羽を使って炭火焼き料理！スカウトはその鳥をさばくのに

四苦八苦。その甲斐あつてできた料理には大満足。

夜は、あいにくの雨。星座の話や星座の話に興味津々で講師のお話に聞き入っていました。

二日目には雨も上がり絶好の日和になり指月山散策もスカウトたちには元氣よく、なぜか、随行した指導者の息は、かなり切れてい



やったよ、ピースだよ

ました。みんなで昼食をとり閉会式。スカウトたちは名残惜しそうに解散しました。

指導者も、スカウトも大変楽しんだオープン集会でした。

カブ・ビーバレー

第1地区



平成14年5月19日岩国市立麻里布小学校で、第25回第1地区のカブ・ビーバレーが開催されました。大会テーマ「レッツカブリンピックは、ビバ、ビバ！」のつて色別に分かれ、楽しく競技を行って一日を過ごしました。

まずは聖火リレーの入場・点火、最初の競技は「急げ命の水を」と題して水くみ競争を行いました。競技が終わって小休止していると突然の大雨。見る間に水たまりができて体育館に避難。おりしも、委員長が会議で、県連事務局へ出発した直後でもあり「置きみやげじや。」の声。さて、雨男はいたい誰だったんでしょうか。

指導者養成研修会

(救急法研修)

平成14年4月20・21日山陽町自然の家で行われ、座学、実技等を学びました。参加者は20人に満たなかった為施設での食事はとれず三食ともファミリーストラン、弁当でした。

一日目の座学で、止血法や人工呼吸法などで、二日目から実技全般が行われ、人形を使い人工呼吸をグラフに出し、測定結果を比べ合いました。止血法は包帯の巻き方や三角巾を使いました。病人やけが人を運ぶ担架を、竹と毛布で作り、実際に人を運びました。

今回の参加者は指導者ばかりで、救急法の指導方法を学びました。今後、現隊において技能を活かしてほしいものです。



第13回日本ジャンボリー参加隊訓練キャンプ 第1隊：田布施

ほんの少しの不安と期待で参加した派遣隊参加訓練は、4月27日から29日の間、田布施小坂野営場でおこなわれた。

まずは開所式。最初に班分け。岩国・柳井・田布施・小野田・美祢のスカウトがいるようだ。どんなスカウトと一緒に行動することになるのか気になっていたことの一つでした。

さて、いったいどんなやつなのだろうか。いやなやつなんて事はないよな。キャンプが終わるまでには少しは仲間意識が持てるようになるのだろうか。

次に、どんな人たちかと少し楽しみにしていた指導者の紹介。岡本隊長は丸いおなかが特徴的な厳しいけど楽しいリーダー、めがねをかけて言葉使いの丁寧な南副長、やさしそうな福田副長、唯一の女性リーダーである溝部副長の4人と一緒に13NJに参加することになるのです。いよいよプログラム開始。最初にテント・フライ・食卓・コンロの設営。みんなと協力して、使いやすいように配置を決めました。しかし、実際に使用してみるとどうも使いにくいところ



もあり少しずつ配置を変えていきました。

そして、夕食になりましたが、時間がかかりすぎたこと、調理がうまくいかなかったことなど反省点は多かったが、そのことで仲間意識も出てきたようにも感じました。

一晩寝たら最初の不安も気にならなくなり、何とかかなりそうだと感じました。そんなこんなで過ごした2泊3日の訓練でしたが、とにかく同じちかいをたてたスカウトなのだから、大阪市舞洲での5日間を含み約1週間も一緒に過ごす仲間として楽しくやっていけるように残り2回の訓練をやりたいです。



くまの僕はボーイ隊キャンプに参加しました。説明会でのリーダーの話では自分の荷物をせおつて相当歩かなくてはいけないようだ。参加してみると、錦川清流線で北河内まで電車で行き、リーダーの荷物の点検を受けた後、いよいよ満開の桜の木の下を通過して出発。
はじめは軽く歩いてきたが坂にかかると息が切れてきた。リーダーが教えてくれる薬草や食草も初めは聞こえていたがだんだん耳に入らなくなった。
リーダーの小休止の音が聞こえてホットした。荷物を下ろしお茶を飲みリーダーの指示で上

ボーイ隊 春のキャンプに参加したこと

岩国暁団カブ隊・ボーイ隊

着を脱いだ。しばらく歩いているとリーダーの「おもしろいものがあるぞ！」の声で近寄ってみると、動物の頭の骨が落ちていたぞ！。いったい何の骨だろうか？。きれいな白骨になつていて、顔が長い小動物の骨であることから、たぬきか犬ではないかとのことだった。
次から次へといろいろなことがあるボーイ隊のキャンプ、何か楽しそうだ、これはボーイ隊にあがらなくっちゃ。





B-P祭 (ベーデンパウエルの生誕を祝う)
 ボーイスカウトの創始者、ベーデンパウエルの生誕を祝う行事で、毎年2月22日がその日に当たるが、その日に近い土曜日や日曜日に行われることも多い。ベーデンパウエルは1857年2月22日にイギリス、ロンドンのハイパークの近くに生まれた。
 ベーデンパウエルの夫人、オラブ・ベーデンパウエルも同じ2月22日が誕生日である。彼女はガールスカウトのチーフガイドであったので、ガールスカウトでもB-P祭を実施している。



すごくむつかしいのだ
 興味しんしんなのですが…



今年も県内各地でB-P祭が盛大に行われました。
 もう、説明はいりませんね。
 楽しかった冬の一日の様子をアルバムにしてみました。

今年もBIP祭
 第2地区・岩国・宇部



第13回日本ジャンボリー 2002.8.3~8.7: 大阪舞洲



第13回日本ジャンボリー標準日程表

時間・基本活動		日程		前日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	翌日
		8/2(金)	8/3(土)	8/2(金)	8/3(土)	8/4(日)	8/5(月)	8/6(火)	8/7(水)	8/8(木)
06:00	起床									
07:00	朝食・点検・朝礼									
08:30	国旗掲揚									
09:00	午前の活動		設営	選択・自主プログラム	信仰奉仕 友情の日	選択・自主プログラム	選択・自主プログラム	選択・自主プログラム	撤営	
11:30										
12:00	昼食									
13:30	午後の活動	設営	設営	選択・自主プログラム	大集会	選択・自主プログラム	環境整備			
16:30										
18:00	夕食									
18:30	国旗降納									
19:00	友情の交歓		開会式	自主プログラム		自主プログラム	閉会式			
21:00										
21:30	班長会議									
22:00	消灯									

山口県連盟第110回指導者講習会を4月14日柳井市文化福祉会館において、内山県連副コミッショナー主任講師のもと開催された。当日の受講者は15名で、修了証を手にした受講者たちはこれを機にそれぞれの分野での新たな挑戦を誓った。

なお、第111回指導者講習会は9月第一日曜日に、中部地区での開催を予定している。

定型外研修会・指導者講習会

光市周防の森ロッジ 柳井市文化福祉会館

また、平成14年度第1回指導者定型外研修会が5月5日、6日の両日、光市周防の森ロッジで開催された。

今回の研修は第13回日本ジャンボリー参加のために必要な知識、技能を中心に講習メニューが設定された。1日目の研修では、ジャンボリー会場、舞洲の気象条件を認識するため、兵庫教育大学情報技術センターの山城助手を客員講師に迎えて野営対策の検証などをした。



ベンチャーフォーラム

山陽町青年の家

平成13年度ベンチャーフォーラムが3月23・24日の両日、山陽町青年の家を会場に、参加者18名で開催された。実行運営委員長主導によるベンチャーのためのフォーラムが展開された。



団創立10周年記念大会

第11回団ポリー：下松第5団

平成14年5月12日(日)下松市米泉湖公園・野外音楽ステージで下松第5団創立10周年記念大会(第11回団ポリー)が開催された。平成14年9月にリーダーと保護者の熱い思いで創設されて、思考錯誤で運営された10年間で、今回の

式典には、県連、地区の関係者の他に友団の徳山第4団のビーバー、カブ隊の出席で会場を盛り上げ、子じヤリも含めて約210名以上が参加し、故井関徳山第四団団委員長へ黙とうをした後ベンチャー隊の司会で進み式典後の記念アトラクションも親子含めて全員で参加して楽しみました。これからも、学校五日制

広報委員のぼやき

最近思うことがある。それは、ボイススカウトの姿をイベント会場が募金活動ぐらいでしか見かけなくなっているように思う。今までは、連休があるたびに何処かの町で見かけていたように思うが少子化によるものだろうか。あまりにも寂しい事ではないだろうか？ それとも、制服を着ていないだけなのだろうか？



カブスカウトも頑張りました

や女子スカウトが増える等社会環境の変化の中、団のスローガンである「野外活動で健全な青少年を育む」とスカウト運動の原点を探究しながら「染野営場開発プロジェクト」を中心にしたワイルドな活動をスカウトに提供するため、団全員で楽しみながら頑張っています。

牧ノ戸から久住山へ（久住登山）

田布施第 1 団 B S 隊・C S 隊

平成13年11月24日、田布施第 1 団 B S 隊・C S 隊そして G S 山口27団総勢28名で大分県久住山へ登りました。久住山は、大分県直入郡久住町と玖珠郡九重町の間にもたがる久住連山の一つです。

今回の久住山1787mは、中岳に次ぐ連山 2 番目に高い山です。

宿营地から 1 時間バスに揺られ今回の登山口の牧ノ戸へ、すでに1330m。長い尾根の沓掛山を越え、西千里ヶ浜に入る。5 cm級の霜柱が顔を出し、足元は解けた霜柱と大勢の登山者の行進で、粘りのある黒い土で靴は重たく真っ黒になりました。星生崎と呼ばれる岩場下の丘陵地を下れば、正面に久住山が望まれる。ここが久住別れ(久住避難小屋)ここで久住山を眺め昼食を取りました。

2 人づれのお姉さんらしき登山者が、我々の大きなおむすびを見て「ウォー」と顔を見合わせ、ため息混じりの声を出し、我々を観察した後、笑顔を浮かべ納得していました。それぞれがザックからサラップに巻いた大きなおにぎりを次々に取り出し、ほおばる姿が滑稽だったのか、それとも迫力満点度肝を抜かれたのでしょうか。

昼食休憩を取りいざ出発。久住山の頂上へはゴロ石の坂をひたすら登り、最後は大きな岩間を歩き、一等三角点のある山頂に到達しました。

久住山山頂からの展望は 360度の大パノラマ。眼下に広がる久住高原は11N Jの会場でした。

早速双眼鏡を取り出して、あそこが G H Q とアリーナ、7 日間生活した 13 S C 等々の位置を思い出しながら、いよいよ 13 N J の年だなと改めて時の過ぎる早さを感じた。

ハトの命と王様のいのち 宗教委員会

いのちの大切さを考える。むかしある国の王様の所に、傷ついたハトが逃げ込んできた。ハトは王様に助けを求め、餓死寸前の飢えたワシは、王様にハトの引渡しを求める。ワシを生かすにはハトを死なさねばならず、ハトを助ければ、ワシが助からぬ。

進退きわまった王様は、ハトと同量の自身の肉片を、ワシに与える道を選らばれる。天びんの片方にハトを乗せ、もう片方にそぎ取ったモモ肉を乗せるが、天びんは一向に動かぬ。

思い余った王様は、自ら天びんに乗り込む。天びんは動き、ピタリと釣り合った。まさに命のはかり。命に軽重はない。

王様のいのちも、ハトの命も、同じひとつの尊い命なのだ。王様の選ばれた道。王様とハトの命の重さ。じっくりと味わいたいものである。私達は肉や魚や野菜などの尊い命をいただいて、生かされている。これらのことを思い、食事をするときには、合掌して、「いただきます」と言わずにはおれない。

ましてや、食べ残しなどできるものではない。

名物リーダー紹介

万年青年リーダー「綱さん」



「スカウティングとは」と大きな声で話し始めると止まらない。

古き時代のスカウト運動を自分の身で知っている一人だ。幼い頃より、故永松省治もと下松第 1 団団委員長長の薫陶を受け伝統ある同団の中心的な指導者として活躍してきた。若い指

導者の面倒見がよく、自宅には若い人の笑い声が絶えない。

これも夫人の人柄によるところが大きい。岩国のガールスカウトの指導者であった夫人を無理矢理(?)連れ帰ったとの伝説も聞く。古いスカウティングだけでなく様々なアイデアを持ち実行していくタイプである。

スカウト人口が減少していく中で、下松第 1 団も例外ではなく、伝統ある下松第 1 団を活性化するには、彼の力に頼るほか無いというのも内外の一致した見方であろう。健闘を祈る。



スカウトのための登山講座

登山家 宇部第 15 団 原山城峯

「山行計画をたてる」

登ろうとする山についてよく調べて知っておくことはもちろんですがそれ以上に自分の能力を知っておくことが大切です。

大きな山は行動時間も長くなります。登りきるだけの体力があるかどうか、コースによって難易度も違います。登山道が

不明瞭であれば地図とコンパスの技術が必要ですし、場合によっては三点支持といった岩登りの技術が必要になります。

体力や技術など、自分の能力をよく把握して、レベルに見合った山行計画を立てましょう。

「敵を知り己を知れば百戦して危うからず」というわけです。

スカウト君

作：おだゆきな



訃報

B S 山口県連盟副理事長 井関澄雄氏

昭和44年、徳山第4団団委員に就任以来、育成会長、地区協議会長、日本連盟理事を歴任。昭和53年から山口県連盟副理事長。一貫してボーイスカウト活動の振興に尽力され、平成11年5月、日本連盟たか章授章。平成14年5月7日逝去されました。謹しんで御冥福をお祈り申し上げます。



ボーイスカウト山口県連盟 平成14年度年次総会を開催

平成14年6月16日 徳山市・徳山市民館小ホール

平成14年度山口県連盟年次総会を、徳山市徳山市民館小ホールで平成14年6月16日(日)に開催。県連年次総会では、前年度事業報告・収支決算報告、新年度事業計画案・収支予算案等を審議。

また、議案審議に先立ちボーイスカウト運動に貢献された功績を讃えて県連盟表彰式及び日本連盟表彰伝達式を挙げる。

平成14年度に表彰・伝達されるのは次の方々及び団体。

【山口県連盟表彰】(以下敬称省略)

〔県連有功章〕

広中勝利(下松5) 竹中喜久美(下松5) 桑原 眞(柳井3)
羽村特美(岩国1)

〔県連感謝章〕

大塩日出夫(下関1) 多田健治(下関6) 村上良男(山陽1)
伊藤和久(小野田1)

〔感謝状・特別の貢献〕

梅田病院 院長 梅田馨(光3) 福嶋宏道(下松5)
光市更生保護婦人会 光ライオンズクラブ 都町自治会
内山昭一 吉田幸子 吉田 洋

〔褒 状〕

隊長・副隊長5年20名、同10年12名、同15年5名、同20年3名
スカウト10年32名

〔組織拡大顕彰〕岩国第6団・下松第5団・美祢第1団

【日本連盟表彰】

〔かっこう章〕 小松崎洋二(西部地区進歩委員長)

編集責任者：広報委員長 羽村特美
印刷所：藤田謄写堂
長門市東深川892-9 (0837)22-2369
スカウト活動のお問い合わせは

あとがき

早いもので、県連広報に関わって2年。県連ホームページ開設、百万一心の編集構成と、そこそ楽しんでいる。ところで「広報ってなんだろう？」ネット上で検索する。【広報】「官公庁・企業・各種団体などが、事業内容や活動状況を一般の人に広く知らせ、理解を求めること。また、その知らせ。」とある。平たく言えば「コミュニケーション」かと納得する。

新聞とは違う：折り込み広告ではない：写真が欲しい：動きのある写真。記事が、文字がなくても、絵が語りかけてくれるようなものが：素晴らしくい写真情報をお寄せください。今後、県連ホームページ、百万一心を媒体に、スカウト活動の楽しさを多くの人に伝えたいと思ふ。

「T」

山口県連盟事務局 mailアドレス：bsymg@ymg.urban.ne.jp
山口県連盟HP http://www.ymg.urban.ne.jp/home/bsymg/